



北海道紋別高等学校 学校便り

希望の学府



第192号

北海道紋別高等学校

〒094-8643

北海道紋別市南が丘町6丁目3番47号

TEL: 0158 (23) 3068

発行日 令和6年3月22日

今年度を振り返って

紋別高校に赴任して2年が過ぎようとしています。何事に対しても”規制”から”緩和”へと世の中が移行するに従い、学校の様子も様変わりしてきました。その中で紋高祭においては、模擬店の復活はならなかったものの、PTAや地域団体の皆さんの協力の下、焼き鳥やキッチンカーでの食料提供を受けるなど、本校本来の学校祭の姿に近づける催しとなりました。また、近年の猛暑の中で、クラスが一致団結して取り組んだ紋高そーらは、保護者や地域の方々からの応援をいただきながら今年度も多くの人に感動を与える完成度となたと感じています。あらためて、地域の支えのもと、学校教育が成り立っていると実感させていただきました。その他、国際交流においては、ロータリークラブの交換留学生としての派遣・受入、紋別市のタイ交流から、長期留学生の受入れを行い、異文化交流により生徒たちの社会を見る視野を広める貴重な体験となりました。また、部活動でも全道・全国大会へ進出するなど、活躍を見せてくれました。世界は物々しいニュースで溢れていますが、紋高生には自分らしさを忘れず、今後も活躍していくことを期待します。

文責：教頭 前崎 孝久

卒業式と3年間を振り返って

3月1日(金)、145名の卒業生が、3年間過ごした学び舎から巣立っていきました。本学年は、コロナ禍の中、入学してきました。そして、卒業を迎える時には、多くの規制が緩和されている社会情勢となり、まさしく激動の3年間だったのではないのでしょうか。

また、卒業式の時、生徒たちが自主的に保護者の皆様に向けた感謝の気持ちを、合唱曲に乗せ伝えました。あの歌声は、生徒たちの3年間の成長を感じるには、十分すぎるものではなかったでしょうか。私たち教職員も、感動の涙を止めることができませんでした。

これからは、生徒一人ひとりが、それぞれの進路へ進んでいくこととなります。将来、多くの困難にぶつかるかもしれません。しかし、この3年間で身につけたものを武器にし、乗り越えていって欲しいと思います。

最後になりますが、3年間お世話になりました保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。

文責：3学年主任

転退出する教職員

氏名	転出先
前崎 孝久	北見商業
秋山 純一	芦別
吉川 邦彦	滝川西
梅田 徹	札幌工業
小松 舞	美幌
上山 梨佐	倶知安
土居 功季	退職
乳井 奈緒	退職
野村 玲奈	退職
淡路 由佳	任期満了

祝ご卒業!



電子機械科の取り組み

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本校電子機械科では、ものづくりを通じて、様々な教育活動を展開してまいりました。新型コロナウイルス感染症による活動制限も解除され、様々な活動が戻り始めた昨今ですが、以前と同様とはなかなかいかない状況にあります。そのような中であっても、各企業の方々にご協力いただき、進路活動に向け3年生と1・2年生は合同で、工場見学を実施することができました。また、実際に企業で働いている先輩に來校していただき、経験談や企業紹介、そしてアドバイスをしてもらったOB講話など、生徒が自分の将来を想像する機会をつくることができたと考えています。また、進路活動についても3年生全員が希望した進路に進むことができました。しかし、就職や進学が決まったら終わりではありません。自分が就職した企業や進学した学校でどの様になって行きたいのかを考え、将来に向けた努力を紋別高校にいる今から継続して行って欲しいと願っています。

電子機械科では「ものづくりは人づくり」と考え、卒業していった生徒が社会に出て少しでも楽しく頑張れるように教員一同、創意工夫を持って頑張りますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。
文責 電子機械科長

〈3年 工場見学〉



〈1・2年 工場見学〉



〈ガス溶接講習〉



〈OB進路講話〉



総合ビジネス科の取り組み

今年度の総合ビジネス科は、将来の紋別市を担う人材の育成に努めてまいりました。総合ビジネス科は、地域活性化をテーマに国際交流をはじめ、販売実習や異校種連携などに力を入れています。国際交流では、タイのウドムスックサー学校との交流が4年目を迎えました。友好関係を築いていることで、毎年、交流内容がレベルアップし、国際交流へ積極的に参加する生徒が増えました。紋別市は、タイの3校と連携協定を結んでいます。ウドムスックサー学校に加えて、3年生の課題研究ではビーコンハウスとも交流を行いました。

紋別市国際交流推進室様主催の技能実習生向け社会科見学には国際交流に参加している1・2年生が国際交流の一環として、紋別観光を含めた交流に初めて参加させていただき、交流を深めることができました。

また、タイ短期留学生との「お泊まり交流会」や「技能実習生向け日本語教室」等に積極的に参加するなど、生徒の課題でもある「コミュニケーション力」を向上すべく、本学科の特色である国際交流を通じて生徒たち自ら克服に努めていました。

「北海道商業教育フェア」では北海道No.1の称号を接客やビジネスマナーなどを総合的に判断して採点される「最優秀ショップ賞」を受賞し、商業高校ではなく複数の学科がある高校が受賞したことで、北海道の商業教育の見本となることが出来ました。

5年目となる「イオン販売実習」では新商品スイーツや、タイとの国際交流に合わせた「ガパオコロッケ」を開発・販売し、大盛況でした。

流氷まつり初日に合わせ、場所をオホーツクタワーから流氷科学センター道の駅紋別オホーツク村にて行われた販売実習では、本校開発・改良レギュラー商品でもある大人気の3種類のロールケーキと紋別コーヒーをタイからの長期留学生とともに販売し、日本語・タイ語・英語・中国語での館内放送も大盛況で、タイと日本のコラボでまた一つ歴史のページをめくることが出来ました。

～「総ビ」発「未来行き」～

グローバル化やAIの波に飲まれることなく、自分たちにしかできないこと取り替え不能の人材育成へこれからも国際交流を特色として活動していきますので、地域の皆様、引き続きご協力を宜しくお願いします。
文責：総合ビジネス科長

〈イオン販売実習〉



〈紋別空港販売実習〉



〈Giza販売実習〉



〈商業教育フェア〉

